

WEEKLY REPORT



↑◆第2790地区 DEI推進委員長 大谷京子様



◆松戸北ロータリークラブと横浜ベイロータリークラブのバナー交換など



←■お客様
オートヴェッシュ代表
高良年彦様
(紹介：野田亮会員)

お仕事：
車の磨き、コーティング、
スイスのワックスを使ったコーティング
(日本で4カ所のみ)

<諸事お祝い / 本日のニコニコ発表>

■大川高明出席・親睦委員長 / 中原光男ニコニコ委員



◆吉田俊一 会員

先週の土曜日(湘南ベルマーレ)孫の新(あらた)がNHKにスタメンで初デビューしました。知人に見てくださる様お願いの電話をいたしましたが無かったです。幹事様にもご紹介いただきましてありがとうございます。

◆平野崇広 会員

(お誕生日)
ご心配をおかけしました。
誕生日のお祝いありがとうございます。

《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・佐久間音弥・廣瀬淳一
・本間紗也香・佐藤友紀

社会奉仕基金：3861円



2024-2025年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



DEI委員会 委員 平野会員挨拶の様子

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 75.8%

第2449回 例会2024年8月28日(水)

- 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 寒郡 茂樹
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 尾崎 裕一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 柳 孝実
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 関 征啓
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2449回 例会プログラム 司会:渋谷剛士 委員長>

- 12:35 点鐘 柳 孝実会長
ロータリーソング斉唱【♪奉仕の理想】
- 12:38 お客様紹介 野澤新之助会長エレクト
- 12:40 会食
- 12:55 例会再開 会長挨拶・報告 柳 孝実会長
幹事報告 関 征啓幹事
- 13:05 「クラブにおけるDEIとは？」
DEI推進委員会 委員 伊藤優花様
- 13:35【委員会報告】
出席親睦委員会 大川高明委員長 本日の出席率発表
社会奉仕委員会 高橋一彦委員長 社会奉仕基金発表
ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 中原光男会員
- 13:45 点鐘 柳 孝実会長



◆司会 渋谷委員長

<会長挨拶>

皆さんこんにちは。
8月24日(土)に三井ガーデンホテル千葉で開催された奉仕プロジェクトセミナーに参加してきました。ご出席いただいた委員長の皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。一言で申し上げますと大変有意義なセミナーでした。何が有意義だったかという、奉仕活動への取り組みのヒントが溢れていたからです。その中で2点、お伝えさせていただきます。



◆柳孝実 会長

1つ目は「フードロスと子どもの貧困について考える」というテーマでご講演いただいたフードバンクちばの顧問、野本茂雄様と出会えたことです。この先進国の日本において、信じがたいことですが、1日5人、年間2千人以上が餓死しているそうです。一方で、まだ十分に食べられるに廃棄されている「食品ロス」の量は、日本国内だけで、世界の1億人以上が十分に食べていける量が廃棄されており、その量は全世界の食糧援助の量の2倍に匹敵するそうです。それだけの量の食品が日本国内で行き場を失い、食べ物を必要とする人に届けられることもなく廃棄されています。

しかし、ひとり親世帯に目を向けると状況は一変します。以前の会長挨拶でも触れましたが、日本のひとり親世帯の貧困率は44.5%となっています。ひとり親世帯の半数近くは貧困層なのです。日本のひとり親世帯の貧困率はOECD加盟36カ国中35位と非常に高くなっています。これは日本という国が世界と比べると、まだまだひとり親世帯にとって、働きづらく、収入を得にくく、自立しにくい社会であるということを示していると思います。同時に日本という社会は全世界の食糧援助の2倍の量の食品が余っているにも関わらず、国内で必要としている貧困層に届ける仕組みが全く足りていないことも示しています。

そんな社会の中で食べ物がある人と食べ物に困っている人の橋渡しをしているのがフードバンクちばです。調べてみたところ、フードバンクの活動は無償で引き取った食品を無償で提供するため、食品の行き来に伴う収益は全くありません。倉庫の家賃など場所にかかる費用、宅配料、燃料費など食品の移動にかかる費用、スタッフの人件費、事務経費など運営にかかる費用は、寄付金や助成金で賄っています。→

<会長挨拶 続き>

→活動を継続するためには、常に3つの問題を解決し続けなければなりません。
1. 支援する食品の確保、2. 運営資金の確保、3. 担い手の確保です。この問題に対して我々は1. 食品の寄贈、2. 資金の寄付、3. ボランティアに参加という形で支援することができます。
ホームページを確認しますと、食品の回収ボックスの設置場所はフードバンクちば、「今日和」全店舗、「すし銚子丸」全店舗のほか、松戸市では松戸市社会福祉協議会に設置されているようですが、多くの食品を集めるには回収ボックスはまだ十分とは言えないのではないかと感じました。例えば、当クラブの例会場である日本閣さんに設置できないだろうか、家族例会の時に会場に設置することはできないか等、漠然と思いを巡らしました。
セミナー終了後に野本様にご挨拶をさせていただくことができましたので、機会があれば卓話をお願いし、フードバンクちばに対する理解を深め、支援も模索していければと思っております。

2つ目は、2790地区が新たな取り組みとしてスタートさせた「TSUNAGU2790」についてです。国際奉仕を得意とするクラブが事業の提唱クラブとしてプレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、賛助クラブがお金を出し合って事業を支援するという、国際奉仕のクラウドファンディングです。

今回の奉仕プロジェクトセミナーにおいて3つのクラブがプレゼンテーションを行いました。いずれも経験や現地とのコネクションがなければ難しい活動ですが、国際奉仕活動の経験の少ないクラブでも賛助金を支出することで国際奉仕活動の一端を担えるほか、提唱クラブの活動に同行して現地に行くことも可能で、国際奉仕活動の経験も積むこともできるので、これから国際奉仕に取り組みたいと考えているクラブには素晴らしい学びの場になると感じました。
当クラブとしても今回の提唱クラブの事業に対し、理事会で協議したうえで、賛助金を支出し、独自の国際奉仕活動へ足掛かりにできればと考えております。

以上、奉仕プロジェクトセミナーへの参加報告とさせていただきます
ありがとうございました。

<DEI委員会「クラブにおけるDEIとは」>

■DEI推進委員会 委員長 大谷京子様 / 委員 伊藤優花様

■DEIとは
D…ダイバシティ 多様性
E…エクイティ 公平性
I…インクルージョン インクルージョン

多様性…中核的価値観を同じくしながらそこに存在する多様性
公平性…スタート地点の違いに着目し、一人ひとりの状況に応じて支援内容を変えること
インクルージョン…個を集団に取り組みこと



■帰属意識

…人間的なやさしさがあった「包容」という言葉が一番近い。自分が大切にしているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようにインクルーシブな文化を築いてほしい



D 誰もが
E 笑顔で
I いごちのいいクラブ